

新町まちづくり計画素案に対する意見

主 要 施 策	関連ページ	意 見 等
1、明日を拓く都市基盤のまちづくり		
インターと8号線を結ぶ新都市軸の整備	35・40	(仮称) 湖東三山インターチェンジと国道8号線を結ぶ道路は、新町発展に欠かせないものである。
2、安全・安心・やすらぎ環境のまちづくり		
防犯体制の強化	42	愛知川署がなくなるが、防犯体制が後退するのではないか。
防犯体制の強化	42	地域安全と防災体制の強化とあるが、具体的な取り組み、防犯活動の組織化が必要ではないか。
防犯体制の強化	42	子ども達がのびのび育っていける、安全・安心なまちづくり。
循環型社会の構築	43	近年の天災は目に余るものがある。人間が自然界に与える影響が無関係とはいえない。自然エネルギーの有効利用、ごみの減量化と分別強化・再利用・再資源化の促進が必要。
3、みんなで築く生涯学習のまちづくり		
学校教育の充実	44	基礎学力の向上はもちろん、社会人としてのルールの教育。
幼児教育の充実	44	幼稚園が狭い、マンモス化の解消。幼稚園教育の充実。
子どもの健全育成	45	子どもの健全育成が大切である。また、親になるための教育も大切である。
4、安心すこやか健康福祉のまちづくり		
子育て支援の充実	46	行政主導でない地域を巻き込んだ子育て支援体制の確立、併せて保育園・幼稚園の充実。
5、元気な産業活力のまちづくり		
農林業の振興	48	集落営農の育成、農業に対する補助制度はどうなるか。農機具の導入助成はどうなるのか。
商工業の振興	48	中山道の空き店舗を利用するなど活力あるまちづくりを。
商工業の振興	48・49	合併することにより、夢・希望が持てることが必要。インターチェンジ建設を実現し、新町の核をつくる必要あり。企業の誘致。商工業の活性化なくして地域の発展はない。
6、共に築く協働のまちづくり		
住民自治意識の向上	37	行政依存が大きいと、行政コストが高くなる。地域で出来ることは地域で解決する。
協働のまちづくり	37	特例債を有効に使い、中長期的な計画を立て、将来よかったと思えるように。
住民と行政のパートナーシップ	50	行政主導で行うのではなく、民意の反映を。
広報の充実	50	新町の基本方針の中身や進捗状況を今後も継続的に知らせてほしい。
行財政の効率化	51	新町のランドデザインを描き必要最小限で、効率的な投資をする。ハコ物は、特に考える。